

第12回北和会ソフトボール大会 ロックフィールダース3度目の正直なるか？

ろっくん通信

Vol:20
5/24(火)



◇いよいよ開幕！北和会ソフトボール大会

5月21日土曜日、晴天にも恵まれ、絶好のソフトボール日和となったこの日、毎年恒例の北野建設(株)様北和会主催のソフトボール大会が犀川第一運動場で開催されました。一昨年は準優勝、昨年は3位という結果だったロックフィールダース。今年の大会は前年度ベスト4がシード扱いとなり、準々決勝からの出番となりました。開会式のあと、ウォーミングアップと軽めの練習を行った選手たちは、まずは緒戦突破を目指して試合に臨みます。

◆第1試合(準々決勝)◆

ロックフィールダース 5-4 トライアン

初戦の対戦相手となったのは、予選Bブロックを勝ち抜いたトライアンチーム。バッティングの巧さと守備の堅さを見せる強豪チームとの試合になった。

ロックフィールダースの先発は2年目の大日方選手(長野工事部)。1回表、先攻のトライアンチームの攻撃を、緩急を活かしたピッチングで三者凡退に抑える好スタートを切る。1回裏のフィールダースの攻撃、先頭バッターの相澤選手(長野営業)が冷静に四球を選んで出塁すると、後続が倒れて2アウトから、この試合四番に入った高橋(祐)選手(長野工事部)がセンターオーバーのタイムリー2ベースを放ち、五番の丸山選手(松本工事部)もレフトへのタイムリー2ベースで続いて、2点を先制することに成功した。

OPick Up Player



◆豪快な先制打！高橋(祐)選手



◆鋭い一振り！丸山選手

OPick Up Player



◆粘りの投球・大日方選手



◆守備でも魅せる久保田選手(左)
貴重な勝ち越し打！奥原選手(右)

2回表、大日方選手は1アウトから守備の乱れもありピンチを背負うと、タイムリーと犠牲フライで同点に追いつかれてしまう。突き放したいフィールダースはその裏、相澤選手、久保田選手(長野工事部)の連打で2アウトからチャンスを作ると、三番奥原選手(松本営業)のレフトへのタイムリー2ベースで再度リードを奪い、さらに四番高橋(祐)選手の2打席連続となるライトへの2点タイムリー2ベースで点差を3点に拡げる。続くチャンスに、六番の本間選手(松本営業)が強烈なピッチャー返しの打球を放つが、惜しくも相手投手の好守に阻まれてしまう。

3点を勝ち越したフィールダースだが、3回表もトライアンチームに連打を許し、2点を失って1点差まで詰め寄られてしまう。さらに1アウト満塁と、この試合最大のピンチを迎えるが、キャッチャー高橋(祐)選手の好判断もあり、トライアンチームの反撃を食い止める。3回裏のフィールダースの攻撃は、大日方選手がヒットを放つなどチャンスを作るが無得点。最終回となった4回表、大日方選手は2アウトからヒットを許すものの、最後のバッターをライトフライに打ち取り試合終了。緊迫した試合をものにし、準決勝へと駒を進めた。



北和会ソフトボール大会恒例
今年はちょっと早めのバーベキュータイム。
午後の2試合に向けて、英気を養います。



◆第2試合 (準決勝) ◆

TAKAMISAWA 11-10 ロックフィールダーズ

準決勝にはシードとなった前年度ベスト4の4チームが勝ち上がり、ロックフィールダーズの対戦相手は前回準優勝の強豪TAKAMISAWAチームに決定した。

先攻となったフィールダーズは、トップバッター**相澤選手**、三番に入ったルーキー・**本藤選手**(長野工事部)のヒットでチャンスを作ると、五番**奥原選手**がレフトへの2点タイムリー2ベースを放ち、この試合も先制点を奪うことに成功する。フィールダーズの先発は2年目の**藤木選手**(長野工事部)。立ち上がり、連打を浴びてしまいピンチを招くと、味方のエラーが重なって同点に追いつかれてしまう。さらにレフトを大きく超えるランニングホームランを打たれるなど、この回8失点とTAKAMISAWAチームにリードを奪われてしまう。

リードを許したフィールダーズ打線は、続く2回表の攻撃、先頭の**小川選手**(長野工事部)がヒットを放つと、一番**相澤選手**が2打席連続となるヒットでチャンスを拡大、そこから二番**久保田選手**、三番**本藤選手**、四番**本間選手**の三連続タイムリーで3点を返し、5対8の3点差まで詰め寄る。

○Pick Up Player



◆切り込み隊長・相澤選手(左)とパンチ力充分・本藤選手(右)



◆追撃のタイムリー！主砲・本間選手

○Pick Up Player



◆藤木選手(左)→高橋(甲)選手(右)への投手ルー



◆諦めない一打！小川選手

点差を縮めたフィールダーズだったが、その裏のTAKAMISAWAチームの攻撃で3点を奪われ、再びリードを6点に広げられてしまう。3回表のフィールダーズは、先頭の六番**高橋(祐)選手**が2ベースで出塁すると、**小川選手**が四球を選んでチャンスを広げ、この試合絶好調の一番**相澤選手**がセンターへの2点タイムリー2ベースを放って、点差を4点に縮める。

3回裏、フィールダーズはピッチャーをルーキーの**高橋(甲)選手**(長野工事部)にスイッチ。試合の時間制限が迫る中、**高橋(甲)選手**は強気のピッチングでTAKAMISAWAチームを三者凡退に抑える好投を見せ、最後の反撃に望みをつないだ。

最終回となる4回表、途中から守備に入っていた**丸山選手**がヒットで口火を切ると、**本間選手**、**奥原選手**もヒットで続き、ノーアウト満塁の絶好のチャンスを作り出す。ここから**高橋(祐)選手**、**小川選手**の連続タイムリーで2点を返し、さらに**飯森選手**(松本営業)の犠牲フライでもう1点を追加。1点差までTAKAMISAWAチームを追い詰めるも、反撃もここまで。11対10とTAKAMISAWAチームに敗れ、2年連続での準決勝敗退。3位決定戦にまわることとなった。

◆3位決定戦◆

ロックフィールダース 10-5 本久

2年連続で準決勝で敗れてしまったロックフィールダース。気持ちを切り替えて臨む3位決定戦の対戦相手は前年優勝の本久チーム。3年連続で対戦することとなりました。

フィールダースは、ここまで温存していた秘密兵器・高野キャプテン(長野営業)と上原監督(会場設備)のバッテリーを投入。高野キャプテンは先攻の本久チームに2点を先制されるものの、この大会では珍しい三振を奪うシーンもあった。後攻のフィールダース打線は、3試合連続となる相澤選手と久保田選手の一・二番コンビの連打で1点を返すと、五番に入ったルーキー・上松選手(長野工事部)がレフトへ2点タイムリー2ベースを打ち逆転に成功する。

ベテランバッテリーが2回表の本久チームの攻撃をゼロに抑えると、1点を追加した3回からは高橋(甲)選手・上蘭選手(長野工事部)のルーキーバッテリーへとスイッチし、この回も本久チームをゼロに抑える。3回裏に本間選手、飯森選手、高橋(甲)選手、奥原選手のタイムリーなどで6点を追加したフィールダース。4回表、本久チームの代打攻勢で3点を失うものの、逃げ切って3位決定戦に勝利した。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新戦力を迎えて臨んだ今回の第12回北和会大会でしたが、2年連続の3位という結果でした。春から課題として取り組んできた「相手の進塁を防ぐためのプレー・連携」が活かされる場面も数多くあり、チームとしての成長を感じられる大会でもありました。それだけに決勝へ進めなかったことは残念ですが、それはまた来年のお楽しみ・・・ということで、これからも精一杯活動していきたいと思っておりますので、また応援よろしくお願ひします！！

○Pick Up Player



◆上原監督・高野キャプテンの over100 バッテリー！



◆逆転打！上松選手(左)
中押しのタイムリー！飯森選手(右)



◆シャープなスイングの上蘭選手

第12回北和会ソフトボール大会、3位入賞！！



皆さん、熱い応援ありがとうございました！！

☆球場風景☆



◆社長、副社長を始め、大勢の方々が応援に駆け付けてくださいました。ありがとうございました！！



◆試合前の一礼。3年連続の対戦。今年こそ！！



◆大量のバーベキューがあつという間に！



◆GO！GO！ロックフィールダーズ号
(逆光になってしまった・・・)



◆本社特設ブースに新たな仲間
準優勝、3位、3位・・・来年は、〇〇！？